



Title	Gallia 57号 会員研究活動報告
Author(s)	
Citation	Gallia. 2018, 57, p. 141-149
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/69861
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

会員研究活動報告

(2017年1月1日～12月31日)

アヴォカ・エリック

論文

- La démocratie poétique de Christian Prigent. Tumultes et mouvements divers à l'assemblée des mots (Bénédicte Gorrillot, Fabrice Thumerel (dir.), *Christian Prigent : trou(v)er sa langue*, Paris, Hermann, pp. 281-296)
- Les hommes d'argent, l'argent dans la société : fortune théâtrale d'un type dramatique et d'une question politique au XVIIIe siècle (*Gallia*, n° 56, 大阪大学フランス語フランス文学会, 3月, pp. 41-50)

口頭発表

- *De l'usage des conflits en démocratie : fureurs et mystères de l'art oratoire pendant la Révolution française* (colloque international *Transitions au pays de la civilité*, organisé par le Département de langue et littérature françaises de l'Université Nationale Centrale de Taiwan, et le groupe *Transitions* (Université Paris-3 Sorbonne-Nouvelle), Taipei, Taiwan, novembre)

足立 和彦

単著

- 『モーパッサンの修業時代 作家が誕生するとき』(水声社, 361p., 10月)

論文

- モーパッサンと戦争：復讐の意味するもの (『名城大学人文紀要』, 52卷3号, 第114集, pp. 1-16, 3月)

書評

- ピエール・スヴェストル, マルセル・アラン著『ファンタム』, 赤塚敬子訳 (風濤社) (『図書新聞』, 3321号, 10月7日)

安達 孝信

論文

- 『パリの胃袋』のチーズ交響曲をめぐる自然主義のポエジー：バルベーによる批判とユイスマンスの擁護 (*Gallia*, n° 56, pp. 51-60, 3月)

口頭発表

- ゾラ『クロードの告白』における「郊外」から「自然」への道—ゴンクール兄弟『ジエルミニー・ラセルトゥー』書評を通して (日本フランス語フランス文学会秋季大会, 名古屋大学, 10月28日)

阿南 婦美代

単著

- 『仮検対策「聴く力」演習』2刷 (駿河台出版社, 3月)
- 『私のホームステイ』3刷 (白水社, 3月)

安藤 麻貴

口頭発表

- カミュ後期の著作における植物の表象と「再生」のテーマ (第81回大阪大学フランス語フランス文学研究会, 大阪大学, 10月7日)

- 井上 直子
- 論文
- ・カミュ『最初の人間』創作への行程—植物の表象をめぐって（日本フランス語フランス文学会中国・四国支部大会，徳島大学，12月9日）
- 井元 秀剛
- 単著
- ・『中級フランス語—時制の謎を解く』（白水社，9月）
- 岩根 久
- 共著
- ・「フランス語初級文法クラスのプチ活性化—反転授業的活動の導入事例」（『アクティブラーニング型授業としての反転授業 [実践編]』森朋子・溝上慎一編，ナカニシヤ出版，pp. 127-137，5月）
- 研究資料
- ・コーパス分析ソフト CasualConc の活用 (1) —ロンサールの論説詩とプロテスタント詩人による版ロンサール詩を例として，（『ロンサール研究』，日本ロンサール学会，30号，pp. 139-145，8月）
- 口頭発表
- ・反ロンサールパンフレットの計量的特徴の再検討（統計数理科学研究所共同研究グループ・統計数理研究所言語系共同研究グループ合同発表会「言語研究と統計 2017」，統計数理研究所，3月28日）
 - ・テキスト理解のために計量的手法を—Mac 用フリーソフト CasualConc を用いたラブレーとモンテニュの語彙の比較を例に（ラブレー・モンテニュ研究フォーラム，東京大学，6月3日）
 - ・語彙計量的手法を日常のテキスト分析に (2) —頻度の可視化について（日本ロンサール学会 2017 年度大会，同志社びわこリトリートセンター，8月12日）
- 上江洲 律子
- 口頭発表
- ・マルロー作品における身体性の表象—『侮蔑の時代』（1935）をめぐって（日本フランス語フランス文学会秋季大会，名古屋大学，10月28日）
- 植村 実江
- 論文
- ・スター夫人『ルソーに関する書簡』における天才の概念（『待兼山論叢』，第 51 号文学篇，pp. 101-116，大阪大学文学部 [編]，12月）
- 口頭発表
- ・スター夫人における天才像（大阪大学フランス語フランス文学会第 81 回研究会，大阪大学，10月7日）

柏木 加代子

翻訳・解説

辞書項目
(辞書)

エッセイ

その他

- ・ジャンヌ・ベム『フロベール コンテンポラリーなまなざし』(水声社, 235p., 5月30日)
- ・*Dictionnaire Flaubert*, Gisèle Séginger, dir., Éditions Honoré Champion, novembre 2017 の5項目担当 : «Mme Dambreuse (Mme)», «Dambreuse (comte d'Ambreuse)», «Dupuis (Léon)», «Comique», «Comédie»
- ・パリの青春 — シスター・ベアタを偲ぶ(『ゆうばえ』第4号, 鳴滝書房, pp. 7-9, 12月15日)
- ・「フロベールとボザール教授ボナ」『日仏文学・美術の交流』(思文閣出版, 2014年)が、2017年12月25日に、以下のフロベール・サイト(Rouen dans le site Flaubert)で公開。Cf. Bulletin Flaubert, n° 194 (12 janvier 2018) にも記載。
KASHIWAGI Kayoko, «Gustave Flaubert et Léon Bonnat : quelques aspects de l'impressionnisme et du japonisme de Flaubert», dans *Les échanges culturels entre le Japon et la France : autour de la collection japonaise d'Emmanuel Tronquois*, Kyoto, Shibunkaku, 2014, pp. 243-261 (mise en ligne sur le site Flaubert, 25 décembre 2017)
- ・フロベール・サイト上の『フロベール書簡』(2017年11月開設)における「1875年3月15日付け姪カロリーヌ宛て書簡」の日付けに関して、柏木の見解が注記された。以下の項目“*I-Notice*”を参照。
<http://flaubert.univ-rouen.fr/jet/public/correspondance/trans.php?corpus=correspondance&id=12421>

柏木 隆雄

単著

編著

エッセイ・
その他

- ・『心の中の松阪』(夕刊三重新聞社, 4月17日, 239p.)
- ・『こう読めば面白い フランス流日本文学』(大阪大学出版会, 6月12日, 340p.)
- ・『関西バルザック研究会100回の歩み』(関西バルザック研究会, 12月15日, pp. 3-14. 総頁90)
- ・玻璃のグラス(『ゆうばえ』第2号, 鳴滝書房, 2月, pp. 13-14)
- ・温厚にして明敏な秀才 (GALLIA, n° 56, 大阪大学フランス語フランス文学会, 3月4日, pp. 96-97)
- ・精悍、緻密な学者魂 (GALLIA, n° 56, 大阪大学フランス語フランス文学会, 3月4日, pp. 106-108)
- ・2016年度の大手前大学院(『大手前比較文化学会会報』第18号, 3月31日, pp. 1-2)
- ・大手前大学の6年間 (AMAMUS OTEMAE, n° 6, 大手前大学, 2016年5月31日, p. 1)
- ・形見のブローチ (『ゆうばえ』第3号, 鳴滝書房, 7月15日, pp. 47-49)

- ・ひょうたんから駒（桂文我，笑福亭生喬，柏木隆雄「三人会」プログラム，7月17日）
- ・三重同工会の平成28年（『赤壁』第91号，三重同工会，9月1日，pp.2-3）
- ・柳の下にもう一匹？（桂文我，柏木隆雄「二人会」プログラム，11月9日）
- ・「放送大学大阪学友会・同窓会」の新しい門出に（『おおさか』第31号，放送大学大阪学友会・同窓会，11月12日，pp.1-2）
- ・座談会『神社と花街』寺井天満宮司，高井住吉大社宮司，津江今宮戎神社宮司，大和屋女将と。司会担当（『やそしま』第11号，（公財）関西・大阪21世紀協会上方文化芸能運営委員会，12月1日，pp.1-29）
- ・「どうこういせ」に寄せて（『どうこういせ』第32号，三重同工会伊勢支部，12月10日，pp.2-3）
- ・母の卒寿（『ゆうばえ』第4号，鳴滝書房，12月15日，pp.19-21）
- 口頭発表・
講演
- ・フランス象徴派詩人ヴェルレースはどう日本語に移されたか？（三重日仏協会，放送大学三重学習センター共催，三重県総合文化会館，6月18日）
- ・漂泊の詩人三好達治の詩と人生（「武庫川俱楽部」講演，宝塚ホテル，7月12日）
- ・フランス文学は色っぽい？（講演「桂文我・笑福亭生喬・柏木隆雄三人会」，松阪産業振興センター大ホール，7月17日）
- ・フランス文学は色っぽい？—その2（「桂文我・柏木隆雄二人会」，国立文楽劇場小ホール，11月9日）
- ・バルザックとLa Chine（日本フランス語フランス文学会中国・四国支部会特別講演，徳島大学，12月9日）
- ・バルザック『禁治産』における「中国」—なぜデスパール侯爵はシノローグとされたか？—（関西バルザック研究会，近畿大学会館，12月23日）

川上 紘史

口頭発表

- ・パスカルにおける意志に基づく認識について（第6回関西学生フランス文学研究会，関西学院大学，8月31日）

北村 卓

編著

- ・『表象と文化XIV』（大阪大学言語文化研究科「言語文化共同プロジェクト2016」，78p., 5月）
- ・『フランスを読み解く鍵 第2巻（改訂版）』（アシェット・ジャポン，83p., 10月）

共編著

- ・『実用フランス語技能検定試験2017年度版5級 仮検公式ガイドブック』（フランス語教育振興協会編，第1部，pp.1-110, 4月）

- | | |
|----------------------|---|
| 論文 | <ul style="list-style-type: none"> ・『フランスを読み解く鍵 第3巻』(アシェット・ジャポン, 89p., 4月) ・Perspective on Baudelaire's Reception in Japan from the Meiji Era to the Present (<i>AmeriQuests</i>, Vol. 13, No 1, University of Vanderbilt, Nashville, pp. 28-33, 3月) ・宝塚歌劇とテロリズム—近年の演目をめぐって(大阪大学言語文化研究科「言語文化共同プロジェクト2016」『表象と文化XIV』, pp. 43-50, 5月) ・ボードレールと日本の文学／文化(『びーぐる 詩の海へ』36号, pp. 30-34, 7月) ・Baudelaire dans le monde littéraire japonais (<i>L'Année Baudelaire</i>, n° 21, Honoré Champion, Paris, pp. 199-206, 12月) |
| 講演 | <ul style="list-style-type: none"> ・La France de la Revue Takarazuka (IV^e Congrès régional de la Commission Asie-Pacifique, Fédération internationale des professeurs de français, 京都大学, 9月22日) ・宝塚歌劇のフランス・イメージ戦略—『モン・パリ』『ベルばら』から現代まで(立命館大阪プロムナードセミナー「大阪・京都文化講座」, 立命館大阪梅田キャンパス, 10月30日) |
| 対談 | <ul style="list-style-type: none"> ・ラフカディオ・ハーンとフランス文学(富山大学中島淑恵教授と, 日本フランス語フランス文学会中部支部大会, 富山大学, 12月2日) |
| 講義 | <ul style="list-style-type: none"> ・文化外交としての宝塚歌劇—海外公演をめぐって(明治大学リレー講義「情報コミュニケーション学—トランシナショナルコミュニケーションにおける文化の伝達」第13回, 12月18日) |
| <p>小林 宣之</p> | |
| 共著 | <ul style="list-style-type: none"> ・中村真一郎に蘇るネルヴァル：演劇の魔（二）(『中村真一郎手帖12』, 水声社, 2017年4月) ・『日仏アニメーションの文化論』(水声社, 大手前大学比較文化研究叢書13, 2017年12月) |
| <p>小山 美沙子</p> | |
| 共著 | <ul style="list-style-type: none"> ・『Roseau pensant—citationsで学ぶフランス語』(あるむ, 3月) |
| コラム | <ul style="list-style-type: none"> ・ロザース (<i>Artes MUNDI</i>, Vol. 2, 名古屋外国語大学ワールドリベラルアーツセンター, 3月) ・言葉文化—フランス語との出会いを大切に！ (<i>PIAZZA</i>, Vol. 2, 名古屋外国語大学出版会, 9月) |
| <p>坂巻 康司</p> | |
| 口頭発表 | <ul style="list-style-type: none"> ・都市へのまなざし—ボードレールからマラルメへ(連続シンポジウム『象徴主義とは何か』第一回「象徴主義と<風景>—ボードレールからブルーストまで—」, 東北大, 9月30日) |

- ・演劇への夢—ヴィリエ・ド・リラダンからマラルメへ（『マラルメ・シンポジウム 2017』, 神戸大学, 12月 16 日）

高岡 尚子

書評

- ・A・コルバン, J-J・クルティース, G・ヴィガレロ監修『男らしさの歴史』I・II・III 鶴見洋一, 小倉孝誠, 今村傑監訳（藤原書店）（『ふらんす』12月号, 白水社）

口頭発表

- ・ジョルジュ・サンドと二月革命—フェミニズムと「その後」を考える（第一回「革命 / 内乱とジェンダー」研究会, 駒澤大学, 9月 17 日）
- ・「男らしい男」と「女らしい女」の間—George Sand の小説 *André* を題材に（日本フランス語フランス文学会 2017 年度秋季大会ワークショップ「19世紀フランス文学における『男らしさ』の危機」, 名古屋大学, 10月 29 日）
- ・薄暗い、本の咲く谷間から—文学・フランス・ジェンダーをつないで語りあう（奈良女子大学 / 神戸女学院大学共同ジェンダーシンポジウム「女子大学で文学を！？」, 奈良女子大学, 12月 1 日）

武田 裕紀

論文

- ・デカルトにおけるディメンジョン概念—空間概念との関係において（『理想』第 699 号, 理想社, pp. 86-98)。
- ・デカルトによる『二項数の立方根の考案』の伝承について (*Gallia*, n° 56, pp. 31-40)

書評

- ・シェイピン他『リヴァイアサンと空気ポンプ——ホップズ、ボイル、実験的生活』吉本監訳／柴田・坂本訳（『科学史研究』第 56 卷第 281 号 4 月号, 日本科学史学会, pp. 66-69)
- ・山上浩嗣『パスカル『パンセ』を楽しむ 名句案内 40 章』（『フランス哲学・思想研究』第 22 号, 日仏哲学会, pp. 334-336)

口頭発表

- ・デカルトにおけるディメンジョン概念—空間概念との関係において—（京都哲学史研究会, 楽友会館, 3月 25 日）

寺本 成彦

論文

- ・クリストフ・オノレ『美しい人』における歌の機能—登場人物の心理・行為の動因としての歌詞の意味作用—（『ヨーロッパ研究』第 12 号, 東北大学大学院国際文化研究科（旧）ヨーロッパ文化論講座, pp. 23-51, 3 月）

講演

- ・神代辰巳初期映画における「気の強い女」の系譜をめぐって（右岸の羊座シネマテーク一日集中講座, ラブミー牧場, 9月 30 日）

林 千宏

共編著

- ・『フランス語を読み解く鍵 第 3 卷』（アシェット・ジャポン, 4 月）

春木 仁孝

論文

- ・直喻的な日本語・隠喻的なフランス語（『時空と認知の言語学』VI, (言語文化共同プロジェクト 2016), 大阪大学大学院言語文化研究科, pp. 31-40, 5月)

書評

- ・Achard, M. (2015), *Impersonals and other Agent Defocusing Constructions in French*, Benjamins (『フランス語学研究』第51号, 日本フランス語学会, pp. 91-93, 6月)

- ・出口優木 (2016), 『連想照応の可能性—フランス語の用例から』朝日出版社 (『フランス語学研究』第51号, 日本フランス語学会, pp. 93-95, 6月)

口頭発表

- ・*Ça sent bon la mer!* 「海のいい匂いがする」—çaを主語に取る構文について (大阪大学フランス語フランス文学会研究会, 大阪大学, 3月4日)
- ・直喻的な日本語・隠喻的なフランス語 (西南学院大学, 7月29日)
- ・çaを主語とする発話の意味 (西南学院大学, 7月29日)

廣田 大地

口頭発表

- ・フランス詩を用いたフランス語学習WEBサイト「ぼえふら」の設計と構築 (教育システム情報学会 2016年度第5回研究会, 愛媛大学, 1月7日)
- ・フランス語学習ICTコンテンツの共有のために—フランス語動詞活用表WEBページ「フラ動」を例に— (第15回e-Learning教育学会, 沖縄大学, 3月18日)
- ・ボードレール散文詩における他者という風景 (連続シンポジウム「象徴主義とは何か」第1回: 象徴主義における<風景>, 東北大学, 9月30日)
- ・ボードレール『悪の華』を読み解く (NHK文化センター梅田教室 短期講座, 1月13日, 2月23日, 3月25日)

道廣 千世

口頭発表

- ・ロマンティック・バレエにおける男の美醜とニジンスキー (第6回関西学生フランス文学大会, 関西学院大学, 8月31日)

森 康晃

口頭発表

- ・ピアノヲを弾くアルベルチヌ (関西ブルースト研究会, 京都大学, 12月16日)

山上 浩嗣

共著

- ・『新・フランス語文法(三訂版)』(朝日出版社, 1月)

- | | |
|-------|--|
| 共著・監修 | ・『2017年度版 仮検公式ガイドブック 準1級』(第1部担当 pp. 13-166)
(公益財団法人 フランス語教育振興協会 (APEF) [発売: 駿河台出版社], 4月) |
| 共訳 | ・エレーヌ・ミション「空しさ——聖書とその文学的変奏」(『思想』第1122号 (2017年10月号), 岩波書店, pp. 129-151, 9月) |
| 翻訳 | ・ディドロ『サロン』抄訳(2)(『大阪大学大学院文学研究科紀要』第57巻, pp. 35-96, 3月) |
| 書評 | ・フィリップ・セリエ著『聖書入門』支倉崇晴・支倉寿子訳(『ふらんす』6月号, 白水社, p. 70, 5月) (http://webfrance.hakusuisha.co.jp/posts/94)
・保苅瑞穂著『モンテーニュの書齋——『エセー』を読む』(講談社, 2017年) ——『エセー』の魅力を、語りかけるような文体で説く(『図書新聞』第3319号, 9月9日)
・連載「寝るまえ5分のパスカル『パンセ』入門」(『ふらんす』白水社) (http://webfrance.hakusuisha.co.jp/categories/2/) :
第1回「信仰と理性」、2017年4月号、pp. 74-75, 3月
第2回「天使と獣」、2017年5月号、pp. 44-45, 4月
第3回「夢とうつつ」、2017年6月号、pp. 44-45, 5月
第4回「固定点」、2017年7月号、pp. 44-45, 6月
第5回「(圧政)と精神の自由」、2017年8月号、pp. 44-45, 7月
第6回「身体と人間の有限性」、2017年9月号、pp. 46-47, 8月
第7回「習慣と直感」、2017年10月号、pp. 46-47, 9月
第8回「狩りと獲物」、2017年11月号、pp. 46-47, 10月
第9回「正義の不在」、2017年12月号、pp. 46-47, 11月
第10回「政治と慈愛」、2018年1月号、pp. 46-47, 12月 |
| エッセイ | ・パスカル『パンセ』入門——「考える葦」から「賭け」へ(空気調和・衛生工学会近畿支部記念講演, ガーデンシティクラブ大阪(ハイビスOSAKA 6階), 5月19日)
・パスカル『パンセ』入門——「考える葦」から「賭け」へ(ラスタ教養大学・言葉文化コース, 伊丹ラスタホール(伊丹市立生涯学習センター), 10月16日) |
| 口頭発表 | |
| 和田 章男 | |
| 論文 | ・ <i>Illiers dans la genèse de «Combray» : la photographie et la mémoire (Proust et Alain-Fournier. La transgression des genres 1913-1914</i> , Honoré Champion, pp. 27-35, 27 mars) |
| 共編著 | ・『新・フランス語文法(三訂版)』(朝日出版社, 1月) |
| 口頭発表 | ・ブルーストとワーグナー批評(関西ブルースト研究会, 京都大学, 2017年4月1日) |
| 講演 | ・パリが変わる! —パリ大改造と詩人ボードレール—(リーガクラブ講演会, リーガロイヤル・ホテル「桐の間」), 6月14日) |

- ・ヴェルサイユ宮殿を巡る — バロックからロココへ — (エコールドロイユル「世界遺産—歴史と文化を巡る旅：フランス（1）」, リーガロイヤルホテル「梅の間」, 7月12日)
- ・ナポレオン神話とモニュメント (エコールドロイユル「世界遺産—歴史と文化を巡る旅：フランス（2）」, リーガロイヤルホテル「梅の間」, 8月2日)
- ・モダニズムの詩 — エッフェル塔とミラボー橋 — (エコールドロイユル「世界遺産—歴史と文化を巡る旅：フランス（3）」, リーガロイヤルホテル「梅の間」, 9月13日)